

令和 7年 2月13日

(単位：千円)

[illegible]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月13日

所属	0145150000	道路管理課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路維持費	事業 1	064	0 1 0 7 0 2 0 2
事業 2	010	市道維持補修費	事業 3	001	街路樹管理等委託費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 街路樹のせん定、植樹帯の除草及び路面清掃を行う。
- ・目 的 通行の安全性を確保し快適な道路環境を保全する。
- ・SDGs 11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効 果 安心安全な通行の確保
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 道路法、秦野市道路条例
- ・計 画 該当なし

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 : 55,830千円
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 56,644千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 59,212千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率） :

3 令和5年度・令和6年度の実施内容[D]

- ・令和5年度 計画的なせん定、除草の他、通行上支障となる街路樹等の管理を行った。
- ・令和6年度 計画的なせん定、除草の他、通行上支障となる街路樹等の管理を行う。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

令和5年度は、限られた財源の中で、街路樹などにおいて管理委託で対応すべき通行に支障となる枝のせん定や除草を実施した。市道等の安全な通行を確保するため、引き続き適正な街路樹等の管理を行っていくもの。
街路樹について、適正な管理を指摘された。【議会】

5 令和7年度の実施計画（課題解決への取り組み等）[A]

街路樹は、自然樹形を保つことが基本であるが、種類により選定の方法、時期、頻度等を考慮するほか、道路構造令、道路交通法等を踏まえ、樹木等の適正管理を進める。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月13日

所属	0145150000	道路管理課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路維持費	事業 1	064	0 1 0 7 0 2 0 2
事業 2	010	市道維持補修費	事業 3	001	街路樹管理等委託費

(1) 増減理由

過去において、道路用地の除草等をボランティアで行っていた人たちが高齢となり、管理者への対応依頼が年々増加していることで要求額を増としている。また、近年、街路樹も大径化しており、せん定などの管理費が増加傾向にある。

シルバー人材センターへ依頼していた草刈り業務について、令和7年度から対応ができないことから、通常の積算により、経費が上昇するため。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等） 該当なし

7 今後の取組方針（事業の方向性・改善方法）[A]

- ・引き続き市道等の安全な通行を確保するため樹木等の適正管理を進める。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

- ・該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

- ・該当なし

(3) 自然災害対策への取組

- ・該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

- ・該当なし

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月13日

所属	0145150000	道路管理課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路維持費	事業 1	064	0 1 0 7 0 2 0 2
事業 2	010	市道維持補修費	事業 3	002	市道維持補修工事等経費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 市道の通行利用に支障のないよう維持管理する。
- ・目 的 安全で快適な道路環境を確保する。
- ・SDGs 9 産業と技術革新の基盤を作ろう
11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効 果 安心安全な通行の確保
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令
- ・計 画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率）: 114,501千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率）: 92,592千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 108,151千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率）: 千円

3 令和5年度・令和6年度の実施内容[D]

- ・令和5年度 要望目的にあった施工方法について検証を行い、最大限の費用対効果を発揮した。
- ・令和6年度 要望目的にあった施工方法について検証を行い、最大限の費用対効果を発揮する。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

令和5年度は、限られた財源の中で、市道等において概ね市民からの要望や危険箇所等の対応を図ることができたが、各対応箇所の延長を短くするなど、市内各所の要望に応えることで、各箇所の工事の効果は充分でない箇所もあり、引き続き施工を継続させる必要がある。

議員要望年間80件以上【議会】

5 令和7年度の実施内容（課題解決への取り組み等）[A]

要望目的にあった施工方法について徹底した検証を行い、最大限の費用対効果についても検討する。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月13日

所属	0145150000	道路管理課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路維持費	事業 1	064	0 1 0 7 0 2 0 2
事業 2	010	市道維持補修費	事業 3	002	市道維持補修工事等経費

6 要求額の増減理由・根拠〔A〕

- (1) 増減理由
電気料金の価格高騰及び災害復旧工事に伴う測量委託料、用地買収費が必要となるため増額するもの。
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

7 今後の取組方針（事業の方向性・改善方法）〔A〕

要望目的にあった施工方法について徹底した検証を行い、最大限の費用対効果についても検討する。

8 その他

- (1) 市制施行70周年を契機とした取組
・該当なし
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
・該当なし
- (3) 自然災害対策への取組
・該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
・該当なし

令和 7年 2月13日

(単位：千円)

	歳入科目款-細々節/所属/編成区分 名	称	充 当 額
	22-01-05-01-01/0110250000/0505		162,000
	市道舗装事業債		
特			
定			
財			
源			
の			
内			
訳			
	計		162,000

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月13日

所属	0145150000	道路管理課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路維持費	事業 1	064	0 1 0 7 0 2 0 2
事業 2	010	市道維持補修費	事業 3	003	市道舗装費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 市道舗装の経年劣化等による損傷を舗装打換え等による修繕を行う。
- ・目 的 道路通行の安全性の確保及び快適な生活環境を図る。
- ・SDGs 9 産業と技術革新の基盤を作ろう
11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効 果 安全で快適な道路通行の確保、また生活環境の改善を図られる。
- ・目標値 道路管理瑕疵の減少を目指す。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 道路法、秦野市道路条例
- ・計 画 秦野市総合計画前期基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率）: 147,891千円 実施状況 : 市道渋沢43号線外18路線道路舗装
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率）: 231,500千円 実施状況 : 市道17号線外19路線道路舗装
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 164,250千円 実施状況 : 市道17号線外10路線道路舗装
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率）: 千円 実施状況 :

3 令和5年度・令和6年度の実施内容[D]

- ・令和5年度 市道渋沢43号線外18路線道路舗装工事、高額資材価格調査を行った。
- ・令和6年度 市道17号線外19路線道路舗装工事を行う。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

- ・市道舗装の経年劣化に伴い修繕を行っていく必要があるが、劣化している路線が増加しているため計画が遅れている。
- ・舗装事業について事業費を含め計画的な執行を求められている。【議会】

5 令和7年度の実施内容（課題解決への取り組み等）[A]

- ・概ね5年ごとに市道舗装の路面性状調査を行い、計画的な舗装打換えを行っていく。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月13日

所属	0145150000	道路管理課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路維持費	事業 1	064	0 1 0 7 0 2 0 2
事業 2	010	市道維持補修費	事業 3	003	市道舗装費

修繕が必要な路線・延長が増えているが、国庫関連市道舗装費とのバランスを考えた結果、市道舗装費は減額となった。

- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

7 今後の取組方針（事業の方向性・改善方法）[A]

- ・限られた財源をより効果的、効率的に活用するため、道路占用者との事業の連携を図る。
- ・舗装事業について、国からの交付措置が図られるように事業の一部を改善する。

8 その他

- (1) 市制施行70周年を契機とした取組
・該当なし
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
・該当なし
- (3) 自然災害対策への取組
・該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
・該当なし

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月13日

所属	0145150000	道路管理課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路維持費	事業 1	064	0 1 0 7 0 2 0 2
事業 2	010	市道維持補修費	事業 3	004	国庫関連市道舗装費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 交付金を活用し、市道舗装の経年劣化等による損傷を舗装打換え等による修繕を行う。
- ・目 的 道路通行の安全性の確保及び快適な生活環境を図る。
- ・SDGs 9 産業と技術革新の基盤を作ろう
11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効 果 交付金を活用し、安全で快適な道路通行の確保、また生活環境の改善を図られる。
- ・目標値 道路管理瑕疵の減少を目指す。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 道路法、秦野市道路条例
- ・計 画 秦野市総合計画前期基本計画、社会資本総合整備計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
 ・令和5年度決算 事業費（進捗率）： 159,840千円 実施状況 : 市道8号線外4路線道路舗装
 市道舗装調査費（路面下空洞調査）
 ・令和6年度予算 事業費（進捗率）： 49,088千円 実施状況 : 市道80号線道路舗装
 市道舗装調査費（路面性状・路面下空洞調査）
 ・令和7年度予算 事業費（進捗率）： 109,000千円 実施状況 : 市道80号線外1路線道路舗装
 市道舗装調査費（路面下空洞調査）
 ・令和8年度以降 事業費（進捗率）： 千円 実施状況 :
 ※令和5年度決算は、前年度繰越分を含む。

3 令和5年度・令和6年度の取組内容[D]

- ・令和5年度 市道8号線外4路線道路舗装工事、路面下空洞調査を行った。
- ・令和6年度 市道80号線道路舗装工事、路面性状・路面下空洞調査を行う。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

- ・市道舗装の経年劣化に伴い修繕を行っていく必要があるが、劣化している路線が増加しているため計画が遅れている。
- ・交付金の減少に伴い本事業の進捗が遅れている。
- ・舗装事業について事業費を含め計画的な執行を求められている。【議会】

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月13日

所属	0145150000	道路管理課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路維持費	事業 1	064	0 1 0 7 0 2 0 2
事業 2	010	市道維持補修費	事業 3	004	国庫関連市道舗装費

5 令和7年度の主な取り組み（課題解決への取り組み等）〔A〕

- ・概ね5年ごとに市道舗装の路面性状調査を行い、計画的な打換えを行っていく。
- ・交付金の減少に伴い、本事業の進捗が遅れている。

6 要求額の増減理由・根拠〔A〕

(1) 増減理由

工事費の増額は、交付金の採択要件に合致し、かつ、早急な修繕が必要な路線・延長が多いため。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和元年度 要望事業費：196,900千円、内示事業費：49,078千円（内示率：24.9%）
 令和2年度 要望事業費：211,300千円、内示事業費：61,154千円（内示率：28.9%）
 令和2年度補正 要望事業費：246,300千円、内示事業費：246,300千円（内示率：100.0%）
 令和3年度補正 要望事業費：130,000千円、内示事業費：101,580千円（内示率：78.1%）
 令和4年度 要望事業費：93,900千円、内示事業費：18,510千円（内示率：19.7%）
 令和4年度補正 要望事業費：350,000千円、内示事業費：105,000千円（内示率：30.0%）
 令和5年度 要望事業費：201,000千円、内示事業費：43,250千円（内示率：21.5%）
 令和6年度 要望事業費：42,000千円、内示事業費：9,562千円（内示率：22.8%）

7 今後の取組方針（事業の方向性・改善方法）〔A〕

- ・限られた財源をより効果的、効率的に活用するため、道路占有者との事業の連携を図る。
- ・舗装事業に対して、国からの交付金を求める。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

- ・該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

- ・該当なし

(3) 自然災害対策への取組

- ・該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

- ・該当なし

令和 7年 2月13日

(単位：千円)

[illegible]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月13日

所属	0145150000	道路管理課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路維持費	事業 1	064	0 1 0 7 0 2 0 2
事業 2	010	市道維持補修費	事業 3	005	市道側溝整備費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 排水機能の確保を行うとともに、道路通行に危険が生じている道路排水施設の改善を行う。
- ・目 的 道路通行の安全性の確保及び排水機能の保持により、快適な生活環境を図るため。
- ・SDGs 9 産業と技術革新の基盤を作ろう
- 11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効 果 道路通行の安全性の確保及び排水機能の保持により、快適な生活環境を確保される。
- ・目標値 側溝蓋等の改修、グレーチング蓋の固定を行うことで跳ね上がり等の防止による道路管理瑕疵の減少を目指す。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 道路法、秦野市道路条例
- ・計 画 秦野市総合計画前期基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 7,199千円 実施状況 : 市道北矢名106号線外1路線側溝整備工事
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 8,100千円 実施状況 : 市道北矢名110号線外1路線側溝整備工事
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 8,100千円 実施状況 : 市道北矢名110号線外1路線側溝整備工事
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 千円 実施状況 :

3 令和5年度・令和6年度の実施内容[D]

- ・令和5年度 市道北矢名106号線外1路線側溝整備工事を行った。
- ・令和6年度 市道北矢名110号線外1路線側溝整備工事を行う。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

- ・市街地の道路排水施設の改善を行うものであるが、事業費の減少に伴い計画が遅れている。

5 令和7年度の実施計画（課題解決への取り組み等）[A]

- ・過年度から継続的に実施する箇所へ集中して事業を進める。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月13日

所属	0145150000	道路管理課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路維持費	事業 1	064	0 1 0 7 0 2 0 2
事業 2	010	市道維持補修費	事業 3	005	市道側溝整備費

増減なし

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

7 今後の取組方針（事業の方向性・改善方法）[A]
・市街地の道路排水施設の改善にあたり、限られた財源をより効果的、効率的に活用する。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組
・該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
・該当なし

(3) 自然災害対策への取組
・該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
・該当なし

令和 7年 2月13日

(単位：千円)

[illegible]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月13日

所属	0145150000	道路管理課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路維持費	事業 1	064	0 1 0 7 0 2 0 2
事業 2	010	市道維持補修費	事業 3	006	土木事業補助金

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 適当と認める団体が行う土木事業に係る補助金の交付
- ・目 的 市民の生活環境の改善を図るため
- ・SDGs 11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効 果 市民の生活環境が改善される
- ・目標値 該当なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市土木事業補助金交付及び資材支給要綱
- ・計 画 該当なし

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 : 500千円
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 1,250千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 1,250千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 1,250千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和5年度・令和6年度の実績内容[D]

- ・令和5年度 土木事業への支援を実施済
- ・令和6年度 土木事業への支援を実施予定

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

- ・令和5年度は1件の舗装工事に対して支援を行った。限られた財源の中で、引き続き市民の生活環境の改善に努めていく

5 令和7年度の実績内容（課題解決への取り組み等）[A]

- ・申請団体の要望を審査し必要な事業に対し補助を行う

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

増減なし

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月13日

所属	0145150000	道路管理課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路維持費	事業 1	064	0 1 0 7 0 2 0 2
事業 2	010	市道維持補修費	事業 3	006	土木事業補助金

該当なし

- 7 今後の取組方針（事業の方向性・改善方法）[A]
- ・限られた財源の中で、引き続き市民の生活環境の改善に努めていく
- 8 その他
- (1) 市制施行70周年を契機とした取組
 - ・該当なし
 - (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 - ・該当なし
 - (3) 自然災害対策への取組
 - ・該当なし
 - (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
 - ・該当なし

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月13日

所属	0145150000	道路管理課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路維持費	事業 1	064	0 1 0 7 0 2 0 2
事業 2	020	交通安全施設整備費	事業 3	001	交通安全施設整備等経費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 道路の安全性を考慮し、交通安全施設の設置、改修を行う。
- ・目 的 歩行者及び車両の通行の安全性を確保する。
- ・SDGs 9 産業と技術革新の基盤を作ろう
11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効 果 歩行者及び車両の通行の安全性が確保される。
- ・目標値 道路の安全性を確保するため、必要性の高い箇所に交通安全施設の設置、改修を行う。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 道路法、秦野市道路条例
- ・計 画 秦野市総合計画前期基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 38,687千円 実施状況 : 市道14号線自転車通行帯整備工事
交通安全施設設置・道路路面標示設置工事等
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 39,380千円 実施状況 : 市道14号線自転車通行帯整備工事
交通安全施設設置・道路路面標示設置工事等
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 40,530千円 実施状況 : 市道14号線自転車通行帯整備工事
交通安全施設設置・道路路面標示設置工事等
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 千円 実施状況 :

3 令和5年度・令和6年度の実施内容[D]

- ・令和5年度 市道14号線自転車通行帯整備工事、交通安全施設設置工事、道路路面標示設置工事を行った。
- ・令和6年度 市道14号線自転車通行帯整備工事、交通安全施設設置工事、道路路面標示設置工事を行う。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

- ・歩行者及び車両の通行の安全性を確保するため交通安全施設等の設置を行う必要があるが、事業費の減額に伴い計画が遅れている。
- ・交通安全施設整備事業について事業費を含め計画的な執行を求められている。【議会】

5 令和7年度の主な取り組み（課題解決への取り組み等）[A]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月13日

所属	0145150000	道路管理課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路維持費	事業 1	064	0 1 0 7 0 2 0 2
事業 2	020	交通安全施設整備費	事業 3	001	交通安全施設整備等経費

・道路交通の安全性を考慮し関係機関と調整を図り、必要性の高い箇所から交通安全施設の設置、改修を行う。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

- (1) 増減理由
事業費の増額は、自転車通行帯整備及び交通安全施設（ガードレール）設置工事の増額によるもの。
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

7 今後の取組方針（事業の方向性・改善方法）[A]

歩行者及び車両の通行の安全性を確保するため、限られた財源をより効果的、効率的に活用する。

8 その他

- (1) 市制施行70周年を契機とした取組
・該当なし
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
・該当なし
- (3) 自然災害対策への取組
・該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
・該当なし

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月13日

所属	0145150000	道路管理課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路維持費	事業 1	064	0 1 0 7 0 2 0 2
事業 2	020	交通安全施設整備費	事業 3	002	通学路安全対策事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 学校周辺の通学路や交通量の多い道路について、歩道等の設置を行う。
- ・目 的 児童、生徒及び歩行者を自動車交通より分離することで歩行者の安全と快適性を確保するとともに道路交通の円滑化を図る。
- ・SDGs 9 産業と技術革新の基盤を作ろう
11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効 果 道路通行の安全性及び快適な生活環境が図られる。
- ・目標値 児童、生徒の安全な通行を確保するため、必要性の高い通学路に歩道等の設置を行う。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 道路法、秦野市道路条例
- ・計 画 秦野市総合計画前期基本計画、秦野市通学路交通安全プログラム

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 36,971千円 実施状況 : 市道曾屋137号線外通学路安全対策工事
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 37,000千円 実施状況 : 市道13号線外通学路安全対策工事
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 35,000千円 実施状況 : 市道68号線外通学路安全対策工事
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 千円 実施状況 :

3 令和5年度・令和6年度の実施内容[D]

- ・令和5年度 市道曾屋137号線外通学路安全対策工事を行った。
- ・令和6年度 市道13号線外通学路安全対策工事を行う。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

- ・車道と歩道で構成される市道を整備する必要があるが、現道の幅員の中でより効果的な通学路安全対策が求められている。
- ・通学路整備事業について事業費を含め計画的な執行を求められている。【議会】

5 令和7年度の実施内容（課題解決への取り組み等）[A]

- ・児童及び生徒の安全な通行を確保するため通学路における合同点検を行い、必要性の高い通学路の安全対策事業を進める。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月13日

所属	0145150000	道路管理課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路維持費	事業 1	064	0 1 0 7 0 2 0 2
事業 2	020	交通安全施設整備費	事業 3	002	通学路安全対策事業費

6 要求額の増減理由・根拠〔A〕

- (1) 増減理由
事業費の減額は、対策路線の工事規模の減によるもの。
- (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

7 今後の取組方針（事業の方向性・改善方法）〔A〕

- ・限られた財源をより効果的、効率的に活用し、必要性の高い通学路の安全対策を行う。

8 その他

- (1) 市制施行70周年を契機とした取組
・該当なし
- (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
・該当なし
- (3) 自然災害対策への取組
・該当なし
- (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
・該当なし

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月13日

所属	0145150000	道路管理課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路維持費	事業 1	064	0 1 0 7 0 2 0 2
事業 2	020	交通安全施設整備費	事業 3	003	国庫関連通学路安全対策事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 学校周辺の通学路や交通量の多い道路について、歩道等の設置を行う。
- ・目 的 児童、生徒及び歩行者を自動車交通より分離することで歩行者の安全と快適性を確保するとともに道路交通の円滑化を図る。
- ・SDGs 9 産業と技術革新の基盤を作ろう
11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効 果 交付金を活用し、道路通行の安全性及び快適な生活環境が図られる。
- ・目標値 児童、生徒の安全な通行を確保するため、必要性の高い通学路に歩道等の設置を行う。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 道路法、秦野市道路条例
- ・計 画 秦野市総合計画前期基本計画、秦野市通学路交通安全プログラム、社会資本総合整備計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 41,985千円 実施状況 : 市道曽屋137号線外7路線のグリーンベルト等整備工事
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 37,288千円 実施状況 : 市道13号線外3路線のグリーンベルト等整備工事
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 8,800千円 実施状況 : 市道68号線外1路線のグリーンベルト等整備工事
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 千円 実施状況 :

3 令和5年度・令和6年度の実施内容[D]

- ・令和5年度 市道曽屋137号線外7路線のグリーンベルト等整備工事を行った。
- ・令和6年度 市道13号線外3路線のグリーンベルト等整備工事を行う。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

- ・車道と歩道で構成される市道を整備する必要があるが、拡幅に伴い土地所有者との交渉に難航している。
- ・通学路整備事業について事業費を含め計画的な執行を求められている。

5 令和7年度の実施計画（課題解決への取り組み等）[A]

- ・児童及び生徒の安全な通行を確保するため通学路における合同点検を行い、必要性の高い通学路から歩道等の設置を進める。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月13日

所属	0145150000	道路管理課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路維持費	事業 1	064	0 1 0 7 0 2 0 2
事業 2	020	交通安全施設整備費	事業 3	003	国庫関連通学路安全対策事業費

6 要求額の増減理由・根拠〔A〕

(1) 増減理由

事業費の減額は、対策路線の減によるもの。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等） 該当なし

7 今後の取組方針（事業の方向性・改善方法）〔A〕

・限られた財源をより効果的、効率的に活用し、必要性の高い通学路から歩道等の設置を行う。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

・該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・該当なし

(3) 自然災害対策への取組

・該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

・該当なし

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月13日

所属	0145150000	道路管理課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路維持費	事業 1	064	0 1 0 7 0 2 0 2
事業 2	060	はだの桜並木魅力向上事業費	事業 3	001	はだの桜並木魅力向上事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内容・目的 本市の観光資源の一つとなっている桜並木の魅力の発信と、樹木の健全な生育を図り、桜による事故を未然に防止する。
- ・SDGs 8 働きがいも経済成長も
11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効果 定期的な診断により樹木の状態を把握し、診断と処置を繰り返し行う予防保全型の維持管理を実施することにより、利用者の安全・安心を確保する。
- ・目標値 樹木のせん定数を増加させる。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 道路法、道路緑化技術基準
- ・計画 総合計画前期基本計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 28,294千円
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 25,200千円
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 25,200千円
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和5年度・令和6年度の実施内容[D]

- ・令和5年度 樹木のせん定、更新
- ・令和6年度 樹木のせん定、更新

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

樹木の高木化、活力の低下及び生育不足の原因となり、倒木の危険性を高めている箇所があり、利用者の安全・安心面などを考慮しながら維持管理を図る必要がある。

5 令和7年度の実施内容（課題解決への取り組み等）[A]

樹木のせん定や伐採を実施し、樹木の更新を行う。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月13日

所属	0145150000	道路管理課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	02	道路維持費	事業 1	064	0 1 0 7 0 2 0 2
事業 2	060	はだの桜並木魅力向上事業費	事業 3	001	はだの桜並木魅力向上事業費

(1) 増減理由
増減なし

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

7 今後の取組方針（事業の方向性・改善方法）〔A〕
樹木の点検診断をもとに、剪定や伐採を実施し、樹木の更新を行い、適切な維持管理を図る。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

・該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・該当なし

(3) 自然災害対策への取組

・該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

・該当なし

令和 7年 2月13日

(単位：千円)

[illegible]

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月13日

所属	0145150000	道路管理課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	04	橋りょう維持費	事業 1	066	0 1 0 7 0 2 0 4
事業 2	010	橋りょう維持補修費	事業 3	001	橋りょう維持管理費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 橋りょうの維持管理経費（照明灯電気料等）
- ・目 的 橋りょうの夜間の通行における安全の確保。
- ・SDGs 9 産業と技術革新の基盤を作ろう
11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効 果 橋りょうの夜間の通行における安全が確保される。
- ・目標値 適正な費用の管理。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 道路法、秦野市道路条例
- ・計 画 該当なし

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 341千円 実施状況 : 橋りょうの照明灯電気料等
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 317千円 実施状況 : 橋りょうの照明灯電気料等
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 500千円 実施状況 : 橋りょうの照明灯電気料等
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 千円 実施状況 :

3 令和5年度・令和6年度の実施内容[D]

- ・令和5年度 橋りょうの照明灯電気料等
- ・令和6年度 橋りょうの照明灯電気料等

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

- ・道路照明灯のLED化に伴い、電気使用量の削減が見込まれる。

5 令和7年度の実施内容（課題解決への取り組み等）[A]

- ・道路照明灯のLED化による電気使用量の削減効果を検証する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

電気料金の価格高騰に伴い、要求基準により増額するもの。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月13日

所属	0145150000	道路管理課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	04	橋りょう維持費	事業 1	066	0 1 0 7 0 2 0 4
事業 2	010	橋りょう維持補修費	事業 3	001	橋りょう維持管理費

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
該当なし

7 今後の取組方針（事業の方向性・改善方法）[A]
・適正な維持管理に努め、電気料のコスト縮減、環境に配慮する。

8 その他
(1) 市制施行70周年を契機とした取組
・該当なし
(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
・該当なし
(3) 自然災害対策への取組
・該当なし
(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
・該当なし

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月13日

所属	0145150000	道路管理課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	04	橋りょう維持費	事業 1	066	0 1 0 7 0 2 0 4
事業 2	020	橋りょう長寿命化・耐震化事業費	事業 3	001	橋りょう長寿命化・耐震化事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 市内の道路施設（橋りょう、トンネル、大型カルバート）について修繕、補修を実施、また、橋りょうについて耐震補強を実施する。
- ・目 的 市内の道路施設の管理について従来の事後的対応から予防保全の施策に転換して長寿命化を行うことで、今後、経年劣化等による修繕、補修の維持管理費の平準化を図る。また、大地震発生時の切迫性が指摘されており耐震補強も早急に実施する必要があることから長寿命化と整合性を図ったうえで、橋りょうは耐震補強を実施する。
- ・SDGs 9 産業と技術革新の基盤を作ろう
11 住み続けられるまちづくりを

(2) 効果・目標値

- ・効 果 市内の道路施設（橋りょう、トンネル、大型カルバート）の経年劣化等による修繕、補修の維持管理費の平準化、橋りょうの大地震への耐震補強対策が図られる。
- ・目標値 市内の橋りょうについて、平成24年度に策定した「秦野市橋りょう長寿命化修繕計画」、平成25年度に策定した「秦野市橋りょう耐震補強計画」に基づき、修繕、補修、耐震補強を行う。

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 道路法、秦野市道路条例
- ・計 画 秦野市総合計画前期基本計画、秦野市橋りょう長寿命化修繕計画、秦野市橋りょう耐震補強計画、秦野市トンネル・大型カルバート長寿命化修繕計画、社会資本総合整備計画

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
- ・令和5年度決算 事業費（進捗率）: 215,490千円 実施状況 : 南矢名陸橋（その5）外2橋修繕・耐震補強工事、上原橋設計委託、橋りょう・トンネル点検
- ・令和6年度予算 事業費（進捗率）: 432,098千円 実施状況 : 南矢名陸橋（その5）外3橋修繕・耐震補強工事、的橋外3修繕工事、橋りょう・大型カルバート点検、橋りょう長寿命化計画策定
- ・令和7年度予算 事業費（進捗率）: 156,900千円 実施状況 : 矢名橋修繕・耐震補強工事、橋りょう点検、トンネル・大型カルバート長寿命化計画策定
- ・令和8年度以降 事業費（進捗率）: 千円 実施状況 :
※令和5年度決算は、前年度繰越分を含む。

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7 年 2 月 13 日

所属	0145150000	道路管理課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	02	道路橋りょう費
目	04	橋りょう維持費	事業 1	066	0 1 0 7 0 2 0 4
事業 2	020	橋りょう長寿命化・耐震化事業費	事業 3	001	橋りょう長寿命化・耐震化事業費

- 3 令和5年度・令和6年度の取組内容〔D〕
 - ・令和5年度 南矢名陸橋（その5）外2橋修繕・耐震補強工事、上原橋設計委託、橋りょう・トンネル点検を行った。
 - ・令和6年度 南矢名陸橋（その5）外3橋修繕・耐震補強工事、的橋外3修繕工事、橋りょう・大型カルバート点検、橋りょう長寿命化計画策定を行う。
- 4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）〔C〕
 - ・市内の道路施設の経年劣化に伴い修繕を行っていく必要があるが、特に全国的な橋りょう修繕耐震補強事業が集中しているため、施工にあたり計画が遅れている。
 - ・橋りょう長寿命化・耐震化事業について事業費を含め計画的な執行を求められている。【議会】
- 5 令和7年度の主な取り組み（課題解決への取り組み等）〔A〕
 - ・市内に橋りょうが174橋、トンネルが1箇所及び大型カルバートが3箇所あるため、点検を行いながら事業を継続する必要がある。
- 6 要求額の増減理由・根拠〔A〕
 - (1) 増減理由
 - 減額は、維持管理費の平準化を図るため、東名高速道路に架かる残り4橋の計画を毎年1橋の実施に変更するため。
 - (2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）
 - 該当なし
- 7 今後の取組方針（事業の方向性・改善方法）〔A〕
 - ・東名高速道路に架かる9橋について優先的に事業を進めてきたが、残り4橋について計画的に実施する。
- 8 その他
 - (1) 市制施行70周年を契機とした取組
 - ・該当なし
 - (2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組
 - ・該当なし
 - (3) 自然災害対策への取組
 - ・該当なし
 - (4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）
 - ・該当なし

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月13日

所属	0145150000	道路管理課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	03	河川費
目	02	河川維持費	事業 1	069	0 1 0 7 0 3 0 2
事業 2	010	河川水路委託事業費	事業 3	001	河川水路委託事業費

事業の概要

1 事業概要[P]

(1) 内容・目的・SDGsの該当目標

- ・内 容 小規模水路等の機能を維持するため、浚渫、除草及び補修工事を行う。
- ・目 的 各施設の機能維持を図り生活環境の改善を図る。
- ・SDGs 9 産業と技術革新の基盤を作ろう
11 住み続けられるまちづくりを
13 気候変動に具体的な対策を

(2) 効果・目標値

- ・効 果 生活環境の改善
- ・目標値 なし

(3) 根拠法令・計画等

- ・根拠法令 秦野市準用河川条例
- ・計 画 なし

2 全体計画[P]

- ・全体計画 事業費 :
・令和5年度決算 事業費（進捗率） : 73,150千円 15,968千円（雨水排水施設等管理事業費）
+57,182千円（雨水排水施設等委託事業費）
・令和6年度予算 事業費（進捗率） : 144,494千円 57,659千円（雨水排水施設等管理事業費）
+86,835千円（雨水排水施設等委託事業費）
・令和7年度予算 事業費（進捗率） : 153,580千円
・令和8年度以降 事業費（進捗率） : 千円

3 令和5年度・令和6年度の実施内容[D]

- ・令和5年度 要望目的にあった施工方法について検証を行い、最大限の費用対効果を発揮した。
- ・令和6年度 要望目的にあった施工方法について検証を行い、最大限の費用対効果を発揮する。

4 事業の自己評価（効果、目標値に対する検証・課題・問題点等）[C]

- ・令和5年度は、概ね予算どおり執行でき、既存水路等に対し適切な維持管理ができた。
- ・各施設を適正に維持管理し、浸水被害を未然防止に努めてもらいたい。【議会】

5 令和7年度の主な取り組み（課題解決への取り組み等）[A]

苦情・要望のあった場所を中心に、最優先で施工しなければならない箇所を選定し、施工方法や費用対効果等について検証

令和 7 年度 当 初 予 算 歳出予算要求書

令和 7年 2月13日

所属	0145150000	道路管理課	会計	01	一般会計
款	07	土木費	項	03	河川費
目	02	河川維持費	事業 1	069	0 1 0 7 0 3 0 2
事業 2	010	河川水路委託事業費	事業 3	001	河川水路委託事業費

を実施する。

また、道路冠水などの対策防止のため、雨水管等の維持管理や計画的なマンホールポンプ等の更新を実施する。

6 要求額の増減理由・根拠[A]

(1) 増減理由

マンホールポンプの更新が増えるため増額するもの。

(2) 根拠（定量データ（過去3か年程度の実績（申請（交付）件数））等）

該当なし

7 今後の取組方針（事業の方向性・改善方法）[A]

苦情・要望のあった場所を中心に、最優先で施工しなければならない箇所を選定し、施工方法や費用対効果等について検証を実施する。

また、道路冠水などの対策防止のため、雨水管等の維持管理や計画的なマンホールポンプ等の更新を実施する。

8 その他

(1) 市制施行70周年を契機とした取組

・該当なし

(2) 「デジタル化」又は「ゼロカーボンシティ」に資する取組

・該当なし

(3) 自然災害対策への取組

・該当なし

(4) 行財政改革の取組（歳入確保・歳出削減）

・該当なし